

記入日 2020 年 11 月 14 日

一般社団法人日本薬学生連盟 2021 年度支部長立候補申請書

立候補者氏名	百瀬 真梨
立候補する役職	東海支部長
大学/学部/学科	名城大学 薬学部 薬学科
学年	4年
所属	広報部、公衆衛生委員会
日本薬学生連盟での活動経歴	2020 年 東海支部、広報部、公衆衛生委員会 所属
立候補動機	前任者の推薦
問題点と改善案	<p>「問題点」 イベントへの参加人数は多いものの、支部側・APS-JAPAN 側が東海支部や APS-JAPAN への会員獲得に繋がっていない。これはすなわち、イベント内で支部の魅力や APS-JAPAN の魅力を全て伝えられるような企画が開催できていない。</p> <p>「改善案」 どのような行動においても、目的が無ければ継続することは難しい。そこで、東海支部が何を指しているのか、APS-JAPAN はどんな活動をどんな目的で行っているのか、東海新歓をはじめとするイベントで参加者に伝える。また、これを支部メンバーと始めに話し合っで決めることで、全員が同じ方向性で活動ができるので支部の一体感にもつながる。具体的には、イベントでの目標を2つ設け、1つは、「そのイベント成功のための目標」をもう一つは、「東海支部・APS-JAPAN として今回のイベントでは何を知ってほしいのか、何を分かってもらおうのかといった目標」を掲げてイベントを行う。そして、イベント終わりには反省会を必ず行って、目標の達成度を支部全体で共有する。支部メンバー1人1人達成度の評価は変わってくるので、それぞれの意見を大切にその反省会内で次のイベントの目標を定めていきたいと思う。これにより、次のイベントへの取りかかりがスムーズになるだけでなく、東海支部としても意識を高く保っていけると考えた。これらの反省は、本部にもミーティングの際に共有して、APS-JAPAN の魅力を伝えられるような目標設定にできているのか見直しを行う。</p>
活動計画	<p>5月 東海新歓 6月 東海交流会 11月 東海薬フェス 12月 FREEM 3月 年会</p>
所信	<p>私は、日本薬学生連盟に1年生の時に加入したものの、学年があがるごとにイベントの参加率が低下してしまっていました。4年生になって改めてこの団体のイベントや活動に関わり、そこで活躍している方と接することで自分も何かしてみたい、何かを与えられる側になりたいと思うようになりました。日本薬学生連盟本部として、活動させていただけるのならば、自分のようにもって何かしたいと思っているけど、どうすればいいか分からず困っている人に対して刺激を与えられるような場を作っていきたいと思えます。そしてその手始めの場が東海支部になるようにしていきます。一度のイベントの参加で APS-JAPAN や東海支部の魅力を伝えるのは難しいので、それも踏まえて目標や目的を明確に定めて、活動します。</p>